

# Another Life - Dan Cavanagh & James Miley with John Hollenbeck

SNAL 003

2022年10月21日（国内先行発売） | 2022年11月18日（海外販売開始）

## S/N Alliance海外アーティスト第一弾！

演奏家、作曲家として似た様な音楽性と美学を持つ二人のピアニスト、  
ダン・キャヴァナーとジェームス・マイリーが、響かせる二台のピアノ。  
その美しく透明な空間に、ジョン・ホーレンベックが紡ぐドラムの音色が魔法をかける。

キャヴァナーの教え子でもある福盛進也主宰レーベルより三作目としてリリースされる  
“Another Life”は、海を超え、時を経て、新たな物語の扉を開く。

★旧友であり、共に名高い大学の音楽科にて教鞭を執り続け、作編曲家としても広く活躍しているキャヴァナーとマイリー。2018年に、予てより計画していた二台ピアノコンサートのライブ録音を行いました。そこでの音世界の美しさは録音には反映されずリリースは断念。それを機に、改めてスタジオアルバム制作を企画し、2019年12月に、共に学んだ地であるオレゴン州にあるスタジオで遂に録音を開始。当初のコンセプトとして“Another Life”とは「空想」や「かつてなかったこと」をテーマにしました。

★レコーディング後、シンセサイザーを追加していく工程に移ったタイミングで、新型コロナウイルス感染症が世の中を席卷し始め、制作を一時中断。その後、数ヶ月の時を経て再開し始めた時、電子音ではなく実際のドラムの音が必要だと確信し、以前から二人が親交のあったドラマー、ジョン・ホーレンベックに声を掛け参加が決定。

★グラミーの受賞歴もあり作曲家としても高く評価されている、唯一無二の存在であるホーレンベックの音色は、まるでその場で共に演奏したかのように寄り添い、呼吸し、みずみずしい色彩を作り出しました。こうして三人の音楽は大きな変化を遂げ、この変則トリオとしての完成形へと導かれました。

★パンデミックの中で経験した制作だからこそ生まれた偶然の重なり。当初のコンセプトから“Another Life”は複数の意味を持ち始め、キャヴァナーはそれを「国を超えた人と人との繋がりを通して、僕たちひとりひとりが実体験する人生の多様性」と語っています。

★ピアノデュオのレコーディングでは、KAWAIの計らいで二台のShigeru Kawai SK-3が用意されました。職人の手により丹念に作られたその二台のピアノによって、それぞれの個性が、綿密に練られたアレンジの中でより重層的に美しく絡み合います。

★オリジナルから斬新なアレンジのカバー曲、そしてインプロビゼーションまでも含む今作品は、演奏家としてだけでなく、作編曲家としての才能も遺憾なく発揮し、新たな芸術性を開花したキャヴァナーとマイリーによるマスターピースです。

★かつてキャヴァナーの教え子だった福盛進也のレーベル、S/N Allianceからこのアルバムがリリースされたことは、とても運命的なこと。この時代に、この世の中だからこそできあがった作品であり、キャヴァナーが語る通り、「人と人との繋がりを深める大きな力を秘めた」音楽だからです。

二台のピアノが、こんなにも美しく透明に響くものなのか。そしてドラムの音色が、その空間に魔法をかける。

演奏家、作曲家として似た様な音楽性と美学を持つ二人のピアニスト、Dan CavanaghとJames Miley。旧友であり、それぞれ教授としての顔を持ち、共に名高い大学の音楽科にて教鞭を執り続けている。そんな二人が2018年の春頃、予てより計画していた二台ピアノコンサートを実行に移しライブ録音を行った。共に学んだ地であるオレゴン州にて、二日間に渡り開催されたそのコンサート。そこで二人が作り上げた音世界は見事なものだったが、残念ながらその美しさは録音には反映されず、ライブアルバムとしてのリリースは断念した。しかし、それを機に意欲が更に増し、改めて二台ピアノ+シンセサイザーでのアルバム制作を企画し、2019年12月に同じオレゴン州にあるスタジオで遂に録音を開始したのだ。KAWAIの計らいで二台のShigeru Kawai SK-3が用意され、職人の手により丹念に作られたその二台のピアノにより、二人の世界は更に広がりを見せた。そして、いよいよシンセサイザーを追加していく工程に移ったタイミングで、新型コロナウイルス感染症が世の中を席卷し始め、制作も一時中断。その後、数ヶ月の時を経て再開し始めるも「まだ何かが足りない」と感じ、直感的に電子音ではなく、実際のパーカッション/ドラムの音が必要だと二人は確信した。そこで第一に名前が挙がったのが、以前から二人とも親交のあったドラマー、John Hollenbeckだ。作曲家としても高く評価され、唯一無二の存在であるHollenbeckが加わり、この音楽は大きな進化を遂げ、この変則トリオとしての完成形へと導かれた。

偶然の重なりが必然に変わる。そして最終的には元にした場所に戻り、求め続けていた世界へと。Cavanaghの教え子でもある福盛進也のレーベル、S/N Allianceからこのアルバムがリリースされたことも、運命的なことだろう。

「Another Life」

この時代に、この世の中だからこそできあがった音楽。そして、そこから開かれるいくつもの扉。進んでいけば、いずれ、全てがあるべき場所へと辿り着くだろう。

### S/N Alliance レーベル概要

2021年、nagaluの兄弟レーベルとしてプロデューサー、ドラマー、作曲家の福盛進也により創設。nagaluとは対照に、アジアだけに留まらず、日本ではまだ知られていない世界の逸出したアーティストの音楽を発信していきます。また新録だけでなく、既に録音され、発掘を待ち望んでいる美しい音楽と世界を繋ぐ「架け橋」となる存在を目指しています。複数の意味を持たせた「S」と「N」に共鳴する「Alliance=仲間」。そんな仲間たちが集う創造の場として、これからの日本の音楽を牽引するレーベルです。

## **ANOTHER LIFE**

Dan Cavanagh & James Miley with John Hollenbeck

1. All the Things in Their Right Places 7'12"
2. The Dawn Wall (feat. John Hollenbeck) 7'30"
3. Wernerism (feat. John Hollenbeck) 2'46"
4. Improvisation 6'41"
5. Another Life (feat. John Hollenbeck) 6'12"
6. Kapo'i (feat. John Hollenbeck) 4'56"
7. Stealing Amsterdam (feat. John Hollenbeck) 9'26"
8. Royals (feat. John Hollenbeck) 5'02"
9. Evening Falls 5'30"

Dan Cavanagh – piano, synthesizers  
James Miley – piano, synthesizers  
with John Hollenbeck - drums

Tracks 3,5,6 composed by Dan Cavanagh  
Tracks 2,7,9 composed by James Miley  
Track 1 composed by Jerome Kern/Radiohead  
Track 8 composed by Ella Yelich-O'Connor and Joel Little

All arrangements by Dan Cavanagh and James Miley  
Recorded December, 2019, Ford Studios, Salem, OR, USA, and May, 2021, Flexatone Studios,  
Montreal, QB, Canada

Engineered by Dan Cavanagh, James Miley, and John Hollenbeck  
Mixed by Todd Sickafoose at Earycanal, Eugene, OR, USA  
Mastered by Daniel Eaton at Little Castle Mastering, Los Angeles, CA, USA

Design: Yume Satou  
Cover and Liner Photos: Shinya Fukumori  
Creative Directors: Shinya Fukumori, Chihiro Fujita, and Masayasu Hanai (S/N Alliance)

Special Thanks to Mitch Paola and the Portland Piano Company for generously providing a matching Shigeru Kawai SK3 grand piano for the recording sessions at Ford Studios in Salem, Oregon.

This recording was made possible in part with the support of the Atkinson Fund for Faculty Development at Willamette University, as well as the Office of the Dean of Liberal Arts, University of Texas at Arlington.